大阪府立生野聴覚支援学校のホームページをご覧ください
ありがとうございます。

大阪府立生野聴覚支援学校 第19代校長 田口 登志子（たぐち としこ）です。

本校は、大正15年に大阪大学医学部初代耳鼻咽喉科長の加藤亨博士によって
私立大阪聾口話学校として創設されました。その後、昭和8年に大阪府に移管され、現
在に至ります。偉大な諸先輩方が、聴覚障がいのある幼児児童生徒の教育に情熱を持っ
て、長年取り組んでこられた歴史と伝統のある学校です。令和8年度創立100周年を迎
えます。校長としての責任を重く受け止め、これから精一杯努めさせていただきます。

今後とも保護者の皆様、地域の皆様、ご関係の皆様のご理解とご支援を賜りますよう、
よろしくお願い申し上げます。

<めざす学校像>

これまでの100年 ここからの100年

誇りと喜びを持てる学校

～夢にむかって チャレンジ！ そしてあきらめない心をたいせつに～

幼児・児童・生徒一人ひとりの障がい状況に応じて適切な指導と必要な支援を行い、
社会自立に向けた生きる力と豊かな言語力を育てる。

乳幼児期からの早期相談に努め、幼稚部・小学部・中学部の一貫した指導・支援の充
実を図る。

社会に開かれた支援学校として、地域の特別支援教育のセンター的役割を果たす。

<重点項目>

- 1 幼児・児童・生徒が安全に、安心して学べる学校
- 2 幼児・児童・生徒の将来を見据え、キャリア教育の充実と確かな学力の育成を図る
学校
- 3 幼児・児童・生徒の成長・発達のため、聴覚障がい教育の高い専門性を有する学校
- 4 地域の学校(園)における特別支援教育の充実に向け、センター的機能を発揮できる
学校

令和7年4月

大阪府立生野聴覚支援学校

第19代校長 田口 登志子